

平成21年5月15日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社  
代表者名 取締役社長 小林 浩  
(コード番号 2282 東証・大証第一部)  
問合せ先 広報IR部長 中島 茂  
TEL : 06-6282-3031

### 日本ハムグループ 新中期経営計画に関するお知らせ

日本ハムグループは、平成21年4月1日から平成24年3月31日（第65期～第67期）の3年間で、『新中期経営計画パートⅢ』とし、事業計画を策定致しましたのでその概略についてお知らせ致します。

『新中期経営計画パートⅢ』は、「国内事業の更なる強化とグローバル企業への挑戦」をテーマに掲げ、今まで培ったグループの強みを基軸に、時代に対応したビジネスモデルへの変革を行うことにより、新中期経営計画パートⅢ最終年度において、連結売上高1兆1千500億円、連結営業利益350億円、連結税引前利益300億円達成に挑戦します。

#### 1. 売上・利益目標（連結）

	H24.3期（計画）	H21.3期（実績）
売上高	11,500億円	10,284億円
営業利益	350億円	214億円
税引前利益	300億円	61億円
当期純利益	170億円	16億円
営業利益率	3.0%	2.1%
ROA（税引前利益）	4.8%	1.0%

#### 2. 設備投資・減価償却

	3ヵ年累計
設備投資	700億円
減価償却	700億円

#### 3. オペレーティングセグメント

	H24.3期（計画）		H21.3期（実績）	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
加工事業	3,740億円	95億円	3,267億円	56億円
食肉事業	7,690億円	240億円	6,778億円	162億円
関連企業	1,530億円	30億円	1,325億円	▲5億円
連結計	11,500億円	350億円	10,284億円	214億円

※連結計は、消去調整後の数値

#### 4. 経営方針・経営戦略

##### 経営方針

今後更に厳しくなると予想される経営環境の変化を冷静に分析し、当社の強みである「インテグレーションシステム」と「高い品質」を練磨し、従来のビジネスモデルを大胆に変革し、「国内ものづくり」を再構築するとともに、拡大する「グローバルマーケット」に挑戦し、新たなビジネスモデルを確立します。

1. 「品質No. 1経営」の定着と進化  
～商品から経営、コンプライアンス、環境、人材まで～

テーマ 『国内事業の更なる強化とグローバル企業への挑戦』

連結売上高	11,500億円
営業利益	350億円
税引前利益	300億円

2. 選択と集中による収益力の向上  
～経営資源から商品まで～

3. グローバル経営体制の構築  
～拡大する海外マーケットへの挑戦～

##### 経営戦略

1. インテグレーションの強化と充実
2. 海外事業拡大の基盤強化
3. 加工事業改革による国内事業の強化
4. 価値創造による収益の拡大
5. グループブランド経営の推進

【参考：品種別売上目標】

区 分	H24.3期（計画）		H21.3期（実績）	
	計 画	構成比	実 績	構成比
ハム・ソーセージ	1,490億円	13.0%	1,389億円	13.5%
加 工 食 品	2,120億円	18.4%	1,875億円	18.2%
食 肉	6,370億円	55.4%	5,664億円	55.1%
水 産 物	920億円	8.0%	838億円	8.1%
乳 製 品	260億円	2.3%	222億円	2.2%
そ の 他	340億円	2.9%	297億円	2.9%
計	11,500億円	100.0%	10,284億円	100.0%

※ 「新中期経営計画パートⅢ」は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した計画・目標であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。また実際の業績等も当中期経営計画とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、当中期経営計画のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。

以上